
大阪ステーションシティ



鉄道駅の形式は大きく分けると「頭端式」（ターミナル）と「通過式」となるが、2011年に5代目の大阪駅として開業した大阪ステーションシティは、1874年に誕生した初代の大阪駅以来の通過式を生かした建築である。南北のビルは、ホームの上を走る幅広い通路で結ばれている。通路の上部の「時空（とき）の広場」は5階に直結し、発着する電車も行き交う人々も眺めることができる。約180m×約100mもの大屋根は都市の活動を包み込んで、多様なものが共にあることを日常的に実感させてくれる。日本は大阪を筆頭に、駅という場所を経由地として捉えるだけでなく、ターミナルデパートを設けるなど目的地としても発達させてきた。最新の建設技術が駆使された大屋根は、そんな歴史的な鉄道文化に新たな形を与えている。（倉方俊輔）

英語名：OSAKA STATION CITY

所在地：大阪市北区梅田3-1-1ほか

建設年：2011年 -